

特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより

学校教育目標  
夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】  
かしこい子 (知)  
あかいい子 (徳)  
ねばりづよい子 (徳)  
たくましい子 (体)

【実践の合い言葉】  
きたえ ふれあう 富沢っ子

# みらい

旭川市立富沢小学校 No. 4 平成27年 6月30日発行

## 「初心忘るべからず」(世阿弥「花鏡」より)

校長 禎島 清幸

少し肌寒い日が続いた6月が終わり、1学期も残すところ僅かになりました。

先日の朝会で、子どもたちに問いかけました。「学期のはじめに考えていた目指すべき姿に向かって努力できましたか。・おおきな数の計算ができますか。・すらすら本を読めますか。・友達と仲良くできますか。・元気に挨拶できましたか。など、自分の目当て通りにいきましたか。」自信をもってにこにこしている子、ちょっと首をかしげた子など、反応は様々でしたが、どの子も確実に努力し成長したはず。成長とは、できなかったことができるようになることです。できなかったことができるようになったと実感したとき大きな喜びを感じ次への意欲(目指す物)が生まれます。成長を実感し、学び続けることが生きていくための課題となります。

「初心忘るべからず」という言葉は、「初めの決意や、真剣な態度を忘れてはいけない」という意味で使われていることが多いのですが、その意味は少し違うようです。初心のことを世阿弥は、次のように語っています。

「初心忘るべからず。この句、三ヶ条の口伝あり。是非とも初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。」

まずは「最初の時の芸の未熟さを忘れてはならない」ことです。初心者の時の自分の芸がどれだけ未熟であったかということ覚えておくことで、自分の芸の上達ぶりを相対的に知ることができますし、過去の過ちを覚えておけば、同じ過ちを犯さなくて済みます。

上達していく過程でも、徐々に段階を踏んでいくわけですから、その段階におけるそれぞれの「初心」があり、上達したいのであれば、その時々の初心も忘れてはなりません。

さらに、ある程度の芸の極みにまで達し、たとえ達人になったとしても、その境地に入ったとたん、その境地が新たな初心なのです。

1学期初めの自分の姿と成長した自分の姿をしっかりとらえ、今の姿になった自分の努力や工夫を振り返り、周りの人への感謝を忘れないことが、2学期での大きな成長につながるはず。2学期での大きな成長につながるはず。

1学期の締めくくりに向け、子どもたちが自分の成長を実感でき次への成長を促されるよう職員一丸となって指導をまいります。いよいよ、本格的な夏がやって参りました。残る1学期を健康で安全に過ごせるよう、生活習慣に乱れがないようご家庭でもご配慮をお願いいたします。

7月の行事予定

生活目標 正しい言葉づかいをしよう。  
保健目標 夏を元気にすごそう。  
給食目標 夏の食生活について知ろう。

日	曜	おこな行事	日	曜	おこな行事
1	水	教育相談③	20	月	海の日
2	木	夏の野山	21	火	ふれ合い給食
3	金	教育相談④	23	木	諸費引落日
7	火	参観日(下校14:10)	24	金	終業式 交通安全教室 大掃除 ガラス拭き(PTA)
8	水	水泳学習①	25	土	夏期休業日(～8月18日)
9	木	朝会 クラブ	27	月	夏のサポート学習①
10	金	職員会議			
14	火	期末処理日(下校14:30)			
15	水	水泳学習② 職員会議			

## H27年度 体カテスト結果 柔軟性の向上は『とみさわっ子体操』の成果!

6月に全学年を対象に体力・運動能力テストを実施しました。昨年度同様、前年度の自分の記録を知らせ、自己目標値を設定して取り組みました。また、児童会の取組として、事前に体カテストの練習に取り組むなど、子どもたちが自ら体力向上を目指そうという意欲的な活動も見られました。

昨年度結果から、全校的に「長座体前屈」(柔軟性)に欠けるという傾向が見られたため、それを改善するために、「とみさわっ子」体操を考案し、全校的に取り組んできました。1年経って、見事にその成果が表れ、全学年とも「長座体前屈」の記録を大幅に伸ばすことができました。

平成25年度全国各学年の平均値を10とした場合の富沢小学校各学年(男女別)の平均値の割合をグラフ化して比較することで、本校の体力的特徴をまとめました。

### H27体カテスト 男子結果分析

◎男子は全種目で全国平均値を上回った。  
◎昨年度、全国平均以下の「長座体前屈」「反復横跳び」「ボール投げ」が、全国平均を上回った。  
△8種目の中で「50m走」「ボール投げ」は他種目に比べ、低い段階にある。  
◆相対的に数値が低い運動能力種目に焦点を当てた改善策が必要である。

### H27体カテスト 女子結果分析

◎6種目で、全国平均を上回った。  
◎昨年度、全国平均を下回った「長座体前屈」は見事に改善された。  
◎「反復横跳び」「シャトルラン」「立ち幅跳び」「ボール投げ」の4種目では、全国平均より10%以上も高い数値であった。  
△昨年度結果と比べると、「握力」「上体起こし」「シャトルラン」「立ち幅跳び」の4種目は低下している。

## 心に残る修学旅行!

6月11日～12日にかけて、6年生8名が札幌小樽方面への修学旅行。「大倉山」「札幌ドーム」「小樽水族館」などの見学先を回りました。

自主研修では2つの班に分かれ、交通機関を調べながら、互いに協力し合って目的地に向かう活動は、まるで課題解決学習のようでした。

小樽のベネツィア美術館では、全員で中世貴族の衣装を着て、記念撮影をしました。今年のサプライズは、札幌ドームでの中田選手・大谷選手のサインをいただいたことです。

子どもたちはそれぞれに心に残る思い出を胸に無事旭川に帰ってきました。

## マラソン記録会 今年も歴代記録更新

19日にマラソン記録会が行われました。低学年2km、中学年3km、高学年4kmのコースで、これまでの自分の記録に挑戦しました。全員が汗ばむほどの記録更新の頑張りを見せてくれました。

1・2年生(2km)			
歴代4位	2年生	普	悠聖
歴代5位	2年生	小林	陵平
5・6年生(4km)			
歴代2位	6年生	岡	大志朗
歴代4位	5年生	小林	暁奈

## 全校英語活動

今年度から特色ある教育活動の1つとして、「全校英語活動」を導入しました。低学年は年間10時間、中学年は年間15時間の予定でALT(外国語教師)を招いて、英語に親しむ活動に取り組んでいます。

2020年度から3・4年生でも正式に英語活動が導入されることを受けて、先行的に実施しています。音楽や言語など、聞く力や音に関する感覚は低年齢から慣れさせる必要があります。この取組がどのような効果をもたらすのか、検証するのは5年後の2020年度です。